

令和6年度

# 財務書類

(概要版)

新見市



## 1 財務書類について

地方公共団体の会計では、単式簿記・現金主義会計を採用していますが、複式簿記・発生主義会計に基づく財務書類を作成することで、現金取引だけでなく、資産・負債等のストック情報を把握することができ、単式簿記・現金主義会計では表すことができない情報を補完することができます。

## 2 財務書類の構成

財務書類は次の4表から構成されています。

### ① 貸借対照表 (BS : Balance sheet)

自治体が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その財産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを総括的に対照表示したもの

### ② 行政コスト計算書 (PL : Profit and loss statement)

1年間の行政活動のうち、福祉活動やごみの収集といった資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費と、その行政サービスの直接の対価として得られた財源を対比させて表示したもの

### ③ 純資産変動計算書 (NW : Net worth matrix)

貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを表示したもの

### ④ 資金収支計算書 (CF : Cash flow statement)

現金（資金）の出入りの情報を、3つの活動区分に分けて表示したもの

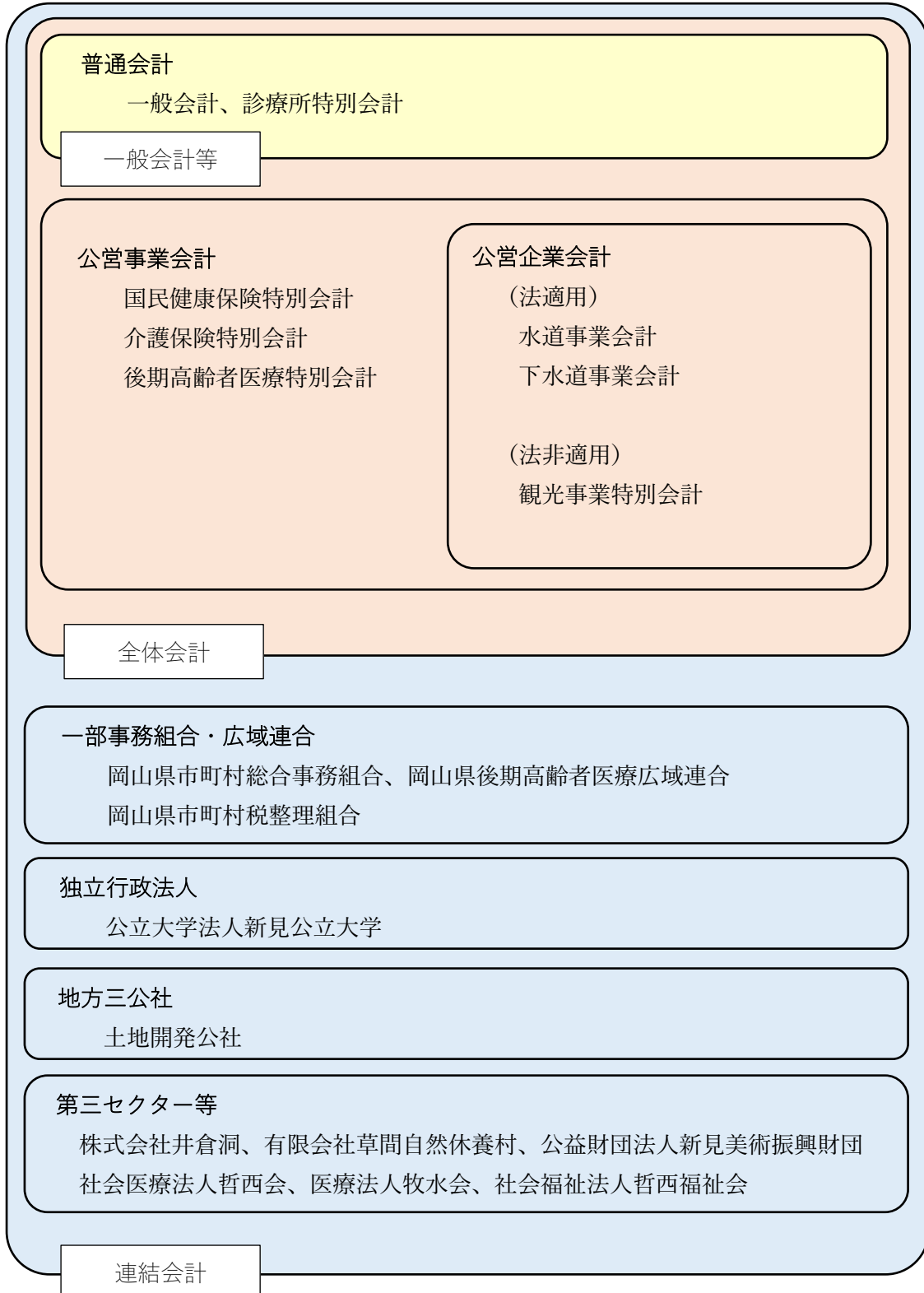
これら4表に加え、財務書類の内容を補足するため、注記、附属明細書を作成しています。

## 3 連結範囲

地方公共団体の行政サービスは、一般会計を中心とした普通会計だけでなく、その他の特別会計や関係団体により提供されています。そのため、一般会計の財務書類を作成するだけでは、必ずしも財務状況の全体像を表しているとは言えません。

そこで、地方公共団体と関係団体等を連結して1つの行政サービス実施主体としてとらえ、公的資金によって形成された資産や負債の状況、行政サービスの提供に要したコストや資金収支の状況等を総合的に明らかにすることが、連結財務書類の目的です。

「統一的な基準」においては、一般会計等、全体会計、連結会計の3種類の財務書類を作成することが求められており、それぞれの対象団体は次のとおりです。



#### 4 財務書類の作成

令和6年度決算に係る本市の財務4表（簡易版）は次のとおりです。

※四捨五入して表示しているため、縦計が一致しない場合があります。

##### ① 貸借対照表

(単位 百万円)

| 科目       | 資産の部    |         |         | 科目          | 負債の部    |         |         |
|----------|---------|---------|---------|-------------|---------|---------|---------|
|          | 一般会計等   | 全体会計    | 連結会計    |             | 一般会計等   | 全体会計    | 連結会計    |
| 固定資産     | 125,895 | 161,286 | 163,314 | 固定負債        | 30,475  | 59,583  | 60,060  |
| 有形固定資産   | 115,125 | 149,456 | 151,870 | 地方債         | 25,654  | 36,593  | 36,629  |
| 事業用資産    | 49,360  | 49,537  | 51,438  | 長期未払金       | -       | -       | -       |
| インフラ資産   | 64,674  | 95,642  | 95,642  | 退職手当引当金     | 4,820   | 4,820   | 5,248   |
| 物品       | 1,091   | 4,277   | 4,790   | 損失補償等引当金    | 1       | 1       | 1       |
| 無形固定資産   | 143     | 143     | 150     | その他         | -       | 18,169  | 18,182  |
| 投資その他の資産 | 10,627  | 11,687  | 11,294  | 流動負債        | 3,693   | 5,380   | 5,636   |
| 流動資産     | 8,641   | 10,863  | 11,869  | 1年以内償還予定地方債 | 3,321   | 4,585   | 4,591   |
| 現金預金     | 1,103   | 3,238   | 4,089   | 未払金         | -       | 399     | 578     |
| 未収金      | 38      | 97      | 172     | 未払費用        | -       | -       | 17      |
| 短期貸付金    | 140     | 140     | 9       | 前受金         | -       | -       | -       |
| 基金       | 7,361   | 7,360   | 7,448   | 前受収益        | -       | -       | 1       |
| 棚卸資産     | -       | 6       | 126     | 賞与等引当金      | 300     | 322     | 332     |
| その他      | -       | 26      | 29      | 預り金         | 72      | 72      | 95      |
| 徴収不能引当金  | -1      | -4      | -4      | その他         | -       | 2       | 22      |
| 繰延資産     | -       | -       | -       | 負債合計        | 34,168  | 64,963  | 65,696  |
|          |         |         |         | 純資産の部       |         |         |         |
|          |         |         |         | 純資産合計       | 100,368 | 107,186 | 109,487 |
| 資産合計     | 134,536 | 172,149 | 175,183 | 負債及び純資産合計   | 134,536 | 172,149 | 175,183 |

##### ② 行政コスト計算書

(単位 百万円)

| 科目       | 金額     |        |        |
|----------|--------|--------|--------|
|          | 一般会計等  | 全体会計   | 連結会計   |
| 経常費用     | 22,679 | 30,619 | 36,962 |
| 業務費用     | 13,808 | 16,676 | 19,101 |
| 人件費      | 5,027  | 5,329  | 6,931  |
| 物件費等     | 8,576  | 10,809 | 11,507 |
| その他の業務費用 | 205    | 538    | 663    |
| 移転費用     | 8,871  | 13,943 | 17,861 |
| 補助金等     | 5,920  | 12,082 | 15,960 |
| 社会保障給付   | 1,830  | 1,834  | 1,834  |
| 他会計への繰出金 | 1,117  | -      | -      |
| その他の業務費用 | 4      | 27     | 67     |
| 経常収益     | 682    | 1,788  | 2,877  |
| 使用料及び手数料 | 196    | 1,113  | 1,532  |
| その他      | 486    | 675    | 1,345  |
| 純経常行政コスト | 21,997 | 28,831 | 34,085 |
| 臨時損失     | 133    | 147    | 168    |
| 臨時利益     | 26     | 27     | 32     |
| 純行政コスト   | 22,104 | 28,951 | 34,221 |

③ 純資産変動計算書

(単位 百万円)

| 科目            | 金額      |         |         |
|---------------|---------|---------|---------|
|               | 一般会計等   | 全体会計    | 連結会計    |
| 前年度末純資産残高     | 98,997  | 105,689 | 107,979 |
| 純行政コスト(△)     | -22,104 | -28,951 | -34,221 |
| 財源            | 23,624  | 30,597  | 35,819  |
| 税収等           | 20,337  | 23,068  | 25,711  |
| 国県等補助金        | 3,287   | 7,529   | 10,108  |
| 本年度差額         | 1,520   | 1,646   | 1,598   |
| 資産評価差額        | -       | -       | -       |
| 無償所管換等        | -149    | -149    | -149    |
| 比例連結割合変更に伴う差額 | -       | -       | -7      |
| その他           | -       | -       | 66      |
| 本年度純資産変動額     | 1,371   | 1,497   | 1,508   |
| 本年度末純資産残高     | 100,368 | 107,186 | 109,487 |

④ 資金収支計算書

(単位 百万円)

| 科目            | 金額     |        |        |
|---------------|--------|--------|--------|
|               | 一般会計等  | 全体会計   | 連結会計   |
| 業務活動収支        | 4,746  | 6,354  | 6,497  |
| 業務支出          | 19,208 | 25,940 | 32,197 |
| 業務費用支出        | 10,337 | 11,997 | 14,091 |
| 移転費用支出        | 8,871  | 13,943 | 18,106 |
| 業務収入          | 23,962 | 32,302 | 38,719 |
| 税収等収入         | 20,332 | 23,323 | 25,936 |
| 国県等補助金収入      | 2,950  | 7,192  | 9,911  |
| 使用料及び手数料収入    | 195    | 1,113  | 1,524  |
| その他の収入        | 484    | 674    | 1,347  |
| 臨時支出          | 103    | 104    | 120    |
| 臨時収入          | 95     | 96     | 96     |
| 投資活動収支        | -4,530 | -5,236 | -5,290 |
| 投資活動支出        | 6,969  | 8,093  | 8,148  |
| 公共施設等整備費支出    | 2,959  | 3,879  | 3,887  |
| 基金積立金支出       | 3,963  | 4,162  | 4,191  |
| 投資及び出資金支出     | -      | 6      | 23     |
| 貸付金支出         | 46     | 46     | 46     |
| その他の支出        | -      | -      | -      |
| 投資活動収入        | 2,439  | 2,856  | 2,857  |
| 国県等補助金収入      | 235    | 300    | 300    |
| 基金取崩収入        | 1,982  | 2,325  | 2,457  |
| 貸付金元金回収収入     | 179    | 179    | 48     |
| 資産売却収入        | 43     | 43     | 43     |
| その他の収入        | -      | 10     | 10     |
| 財務活動収支        | -203   | -1,101 | -1,143 |
| 財務活動支出        | 3,702  | 4,971  | 5,048  |
| 地方債償還支出       | 3,702  | 4,971  | 5,037  |
| その他の支出        | -      | -      | 11     |
| 財務活動収入        | 3,499  | 3,870  | 3,905  |
| 地方債発行収入       | 3,491  | 3,863  | 3,898  |
| その他の収入        | 7      | 7      | 7      |
| 本年度資金収支額      | 13     | 17     | 63     |
| 前年度末資金残高      | 1,018  | 3,149  | 3,955  |
| 比例連結割合変更に伴う差額 | 0      | -      | -1     |
| 本年度末資金残高      | 1,031  | 3,166  | 4,016  |
| 前年度末歳計外現金残高   | 59     | 59     | 59     |
| 本年度歳計外現金増減額   | 13     | 13     | 13     |
| 本年度末歳計外現金残高   | 72     | 72     | 72     |
| 本年度末現金残高      | 1,103  | 3,238  | 4,089  |

## 5 財務書類の分析

財務書類の数値を用いて、本市の財政状況を表す指標を算定すると次のとおりです。

※以下、一般会計等について算定。

※人口は1月1日住民基本台帳人口を使用（R05：26,657人、R06：25,939人）。

### I 資産形成度

- ① 住民一人当たり資産額（資産合計÷住民基本台帳人口）

R05 499.8 万円/人 ⇒ R06 518.7 万円/人

保有している資産を、住民一人当たりに換算するとどれくらいになるかを表した指標です。

2024 かのき基金の積み立てにより資産合計は増加(R05：133,233 百万円→R06：134,536 百万円、+1,303 百万円)しており、また分母である人口も減少しているため、前年から 18.9 万円/人 増加しています。

- ② 歳入額対資産比率（資産合計÷歳入総額）

R05 4.6 年 ⇒ R06 4.3 年

これまでに形成された資産が、当該年度歳入の何年分に相当するかを表した指標です。

分子である資産合計の増加による影響よりも税収等収入増加により分母である歳入総額が拡大(R05：28,761 百万円→R06：31,012 百万円、+2,251 百万円)したことによる影響が大きく、前年から 0.3 年減少しています。

- ③ 有形固定資産減価償却率

$$\left( \frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形固定資産合計} - \text{土地等の非償却資産} + \text{減価償却累計額}} \right)$$

R05 75.9 % ⇒ R06 76.7 %

償却資産が、資産の取得から耐用年数に対してどの程度経過しているかを表した指標です。

建物・工作物の取得により分母は増加していますが、建物等の減価償却が進んだことによる減価償却累計額が増加(R05：145,687 百万円→R06：148,655 百万円、+2,968 百万円)したことによる影響が大きく、0.8 ポイント増加しています。

## II 世代間公平性

純資産比率 (純資産合計÷資産合計)

R05 74.3 % ⇒ R06 74.6 %

総資産のうち、これまでの世代が負担した割合がどの程度かを表した指標です。

純資産が増加 (R05 : 98,997 百万円→R06 : 100,368 百万円、+1,371 百万円) したことによる影響が、分母である資産合計が増加したことによる影響よりも大きく、前年から 0.3 ポイント増加しています。

## III 持続可能性

住民一人当たり負債額 (負債合計÷住民基本台帳人口)

R05 128.4 万円/人 ⇒ R06 131.7 万円/人

保有している負債を、住民一人当たり換算するとどれくらいになるかを表した指標です。

地方債発行金額よりも地方債償還金額が大きかったことによる地方債の減少により、分子である負債合計が減少 (R05 : 34,236 百万円→R06 : 34,168 百万円、△68 百万円) したことによる影響よりも、分母である人口が減少したことによる影響が大きく、前年から 3.3 万円/人増加しています。

## IV 効率性

住民一人当たり行政コスト (純行政コスト÷住民基本台帳人口)

R05 78.7 万円/人 ⇒ R06 85.2 万円/人

行政コスト計算書で算出される行政コストを、住民一人当たり換算するとどれくらいになるかを表した指標です。

人件費や補助金等の増加により、純行政コストが増加 (R05 : 20,968 百万円→R06 : 22,104 百万円、+1,136 百万円) したことに加え、分母である人口が減少したことにより、前年から 6.5 万円/人増加しています。

## V 自律性

受益者負担比率 (経常収益÷経常費用)

R05 2.6% ⇒ R06 3.0%

行政サービスの提供に対する直接的な負担の割合を表した指標です。

経常収益が増加 (R05 : 559 百万円→R06 : 682 百万円、+123 百万円) したことによる影響が、経常費用が増加 (R05 : 21,518 百万円→R06 : 22,679 百万円、+1,161 百万円) したことによる影響よりも大きく、前年から 0.4 ポイント増加しています。